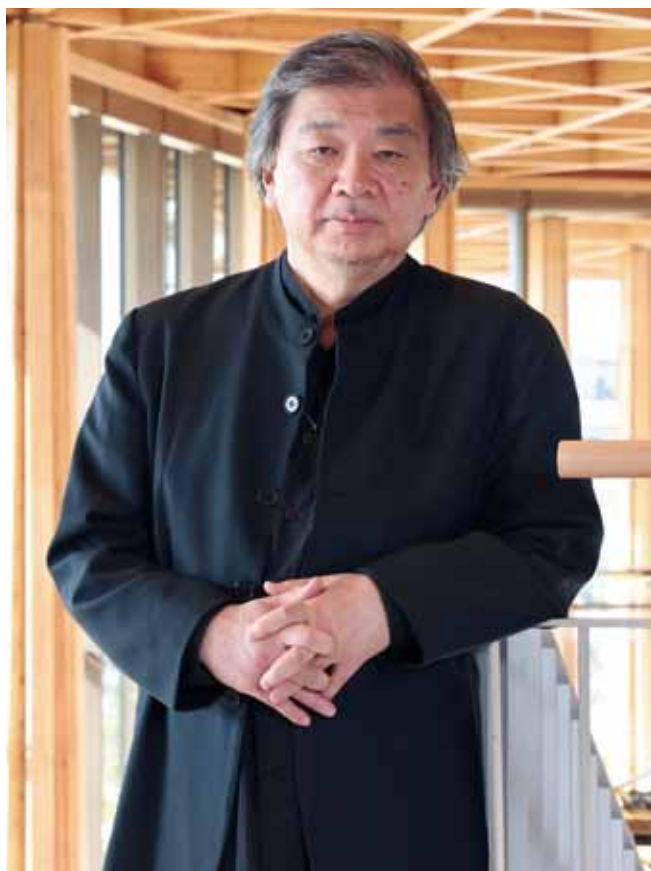


高松宮殿下記念世界文化賞

PRÆMIUM IMPERIALE

IN HONOUR OF PRINCE TAKAMATSU

PRÆMIUM
IMPERIALE
35



世界文化賞受賞記念建築講演会 2024

「坂 茂 建築を語る」

日時:11月20日(水) 16:00~17:30 (開場 15:30)

会場:鹿島KIビル 大会議室 東京都港区赤坂6-5-30

主催:公益財団法人 日本美術協会 後援:公益財団法人 鹿島美術財団

モデレーター:三宅理一 (建築史家/東京理科大学客員教授)

東日本大震災から能登半島地震、そしてウクライナ戦争と、適切な住環境の構築を通じて、世界各地で被災者や難民の救済を行う建築家、坂 茂。始まりは、1995年、アフリカ・ルワンダの難民キャンプ。再生紙を原料に建築構造材として実用化した紙管を、限りある木材資源の代替とすることで、国連難民高等弁務官事務所のコンサルタントとなり、難民シェルターを造りました。高校卒業後に渡米し、南カリフォルニア建築大学、クーパー・ユニオン建築学部で建築を学んだ坂。『ポンピドー・センター・メス』(2010年)、『ラ・セーヌ・ミュージカル』(2017年)と、うねる集成材と膜材を使った、革新的な建築も高い評価を得ています。2014年、プリツカー賞受賞。平時と非常時の両方で建築家の使命を果たす坂 茂の建築の真髓を学んでみませんか。